

## 『今治市の財政見通しについて』

### ●『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』に基づく健全化判断比率

平成 27 年度健全化判断比率

(単位：％)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (11.29)	— (16.29)	12.8 (25.0)	24.2 (350.0)
—	—	13.0	40.2

( ) 内は早期健全化基準 ※下段は平成 26 年度の比率

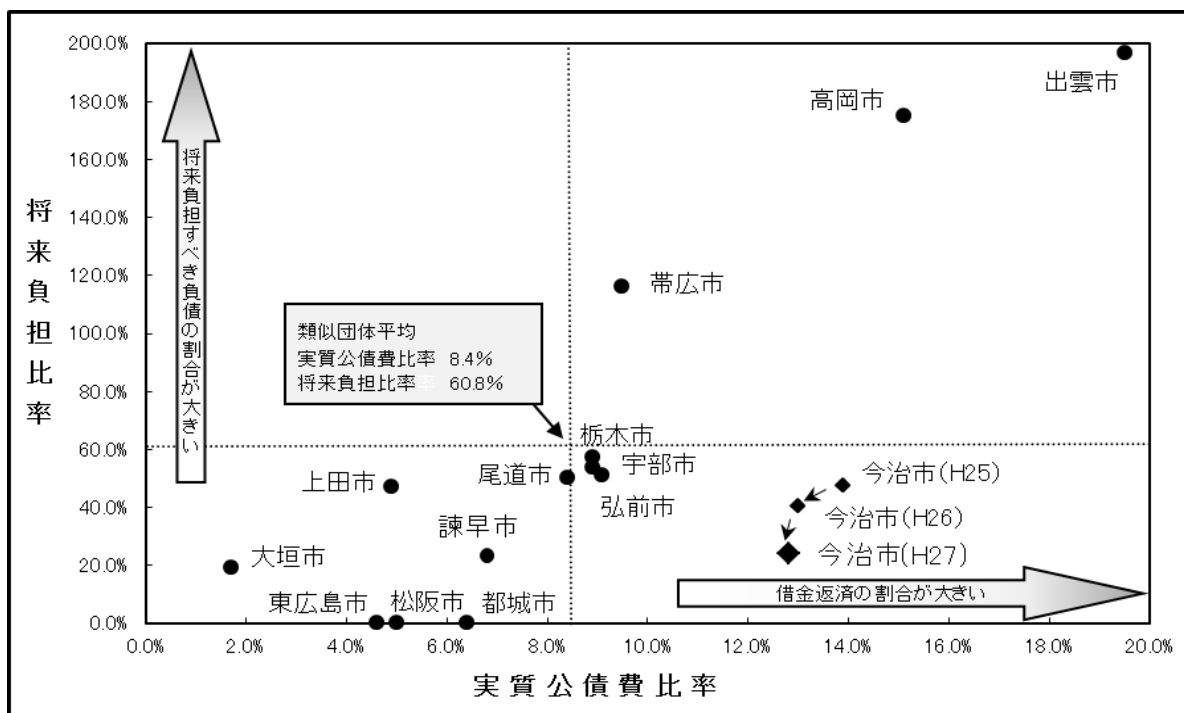
- H27 年度における財政健全化判断比率の指標において、「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」は該当していない。
- 「実質公債費比率」は 12.8%となっているが、早期健全化基準 (25%以上)、財政再生基準 (35%以上) に達しておらず、将来にわたって健全な財政運営の見通しが立っている。
- 将来負担比率においては 24.2%と、将来負担額に対して充当可能な特定財源等が多いため、比較的低い数値に留まっている。

### ●他団体との比較 (平成 27 年度今治市各会計決算審査意見書及び財政健全化判断比率審査意見書に掲載した類似団体)

都市名	実質公債費比率 (単位：％)	将来負担比率 (単位：％)	積立金現在高 (単位：百万円)	地方債現在高 (単位：百万円)
帯広市	9.5	116.0	4,292	97,521
弘前市	9.1	50.9	9,182	83,633
栃木市	8.9	57.1	14,418	60,944
高岡市	15.1	175.1	6,065	111,340
上田市	4.9	47.3	19,893	69,549
大垣市	1.7	19.3	9,771	61,616
松坂市	5.0	—	13,311	49,120
出雲市	19.5	196.9	9,537	118,878
尾道市	8.4	50.2	10,869	69,138
東広島市	4.6	—	28,656	84,727
宇部市	8.9	53.8	11,615	75,225
諫早市	6.8	23.4	22,511	64,443
都城市	6.4	—	30,488	79,483
(類団平均)	(8.4)	(60.8)	(14,662)	(78,894)
<b>今治市</b>	<b>12.8</b>	<b>24.2</b>	<b>31,210</b>	<b>88,978</b>

(※類似団体については総務省公表H26 年度確定値を記載)

●実質公債費比率と将来負担比率の相関図



(平成 27 年度今治市財政健全化判断比率審査意見書抜粋)

- 将来に備えて積極的な基金積立により、将来負担比率 24.2%は類団平均 60.8%を大幅に下回る良好な指数となっている。
- 合併特例期間において合併特例債を有効に活用し、積極的な資本投資を行なった結果、地方債現在高が多く、実質公債費比率 12.8%は類団平均 8.4%を上回っているものの、市債残高に対し約 75.9%が後年交付税算入され、起債償還のピークを過ぎ、一定の収束を迎えていくことで、将来的に指標は改善する見込である。

●大学立地事業費補助金を平成 27 年度の将来負担額に含めて機械的に試算

将来負担比率

(単位：%)

債務負担行為 96 億円の内 64 億円を含めた場合	40.8
----------------------------	------

- 補助金は複数年度の分割交付とするが、単年度に全額交付した試算において、将来負担比率 40.8%は、平成 26 年度の将来負担比率 40.2%とほぼ同等の指数となっている。
- 仮に 96 億円全額を含めて試算した場合においても、将来負担比率が一時的に 49.1%に上昇するが、類団平均 60.8%を下回る指数となっている。